

情報公開文書

聖隷三方原病院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた検体やカルテ記録を利用することによって行います。このような研究は、文部科学省・厚生労働省の「人を対象とする医学研究に関する倫理指針」の規定により、対象となる患者さんのお一人ずつから直接同意を得るのではなく、研究内容の情報を公開することが必要とされております。この研究の計画や方法について詳しくお知りになりたい場合、この研究に検体やカルテ記録を利用することをご了解いただけない場合など、お問い合わせがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

[研究課題名] 臨床因子を用いた間質性肺炎の予後および急性増悪の予測スコア開発

[研究機関名] 聖隷三方原病院

[研究機関の長] 荻野和功

[研究責任者] 横村光司 (呼吸器内科・医師)

[研究の概要]

■ 目的・方法 (研究期間も含む)

研究期間：実施承認後～2025年8月

目的・方法：間質性肺炎は肺の間質に炎症や線維化病変を来す疾患の総称です。患者さんによって進行のスピードは様々ですが、急激に呼吸不全が進行する急性増悪をきたすことがあります。間質性肺炎の死因の中で高い割合を占めています。しかしながら急性増悪がどのような患者さんに起こりやすいかなどについて検討した報告は少ないのが現状です。特発性間質性肺炎の理想的な管理方法に向けた基盤を構築するために、より多くの症例の臨床経過を調査する多施設後ろ向き研究を計画しました。

本研究は、聖隷三方原病院の倫理委員会の許可を得て行われます。あなたの診療録(カルテ)から過去の情報を抽出して、解析を行いますが、保存された血液などの試料の利用や、この研究のために新たな試料を採取することはありません。したがって、あなたに新たな負担はありません。また、カルテからの情報の抽出の際には個人情報情報を削除しますので、あなたの情報が流出することはありません。

■ 対象となる患者さん

2001年1月から2019年12月までに当院に受診歴のある間質性肺炎の方

■ 研究に用いる試料・情報の種類

試料：なし

情報：性別、年齢、身長、体重、既往歴、病歴、喫煙歴、粉塵吸入歴、膠原病に関連する症状の有無、血液検査結果、生理検査結果、胸部CTデータ等

■ 外部への試料・情報の提供

データセンターへのデータの提供は、特定の関係者以外がアクセスできない状態で行います。対応表は、当院の研究責任者が保管・管理します。

■ 研究組織

研究代表施設：浜松医科大学 須田隆文

共同研究機関：聖隷浜松病院 中村秀範

(様式 17)

研究番号	第	20-45
------	---	-------

[問い合わせ先および研究への利用を拒否する場合の連絡先]

社会福祉法人 聖隷福祉事業団 総合病院 聖隷三方原病院

横村光司・呼吸器内科

電話 053-436-1251 FAX 053-438-2971